

事 項	今年度のスキーム	改 善 案
I 評価対象	○施策レベル（見える化改革の事業ユニットにおける施策）	○各局における重要な課題を有する政策分野などから、評価する施策を選定 ○施策の規模は、おおむね「部相当で取り組む事業のまとまり」のレベルを想定（細分化する場合は事務局と要調整） ○施策の選定は、成果指標・目標の設定と一体的に実施
評価実施 施策・局	○（見える化改革の）事業ユニット所管局（計21局） ○各局が選定した1ユニットにおける全施策（一部でも可）	<p><施策の選定基準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・より成果を志向してマネジメントする必要がある施策の中から、以下の基準で選定 <ol style="list-style-type: none"> ① 行政計画等における位置付け、行政計画等の改定時期、法令の制定改廃の動向、社会経済状況の変化など、施策を取り巻く状況を踏まえて時宜にかなった施策 ② 上記のほか、各局が必要と認める施策 <p>[考え方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な分析・施策改善の検討につなげるため、評価対象を重点化する ・都民への分かりやすさの観点から、評価する施策は、一定の規模感を確保し、設定する

政策評価制度の改善案（2 / 3）

事 項	今年度のスキーム	改 善 案
II 評価手法	○当年度、施策ごとに、成果指標・目標を設定。原則として定量的なアウトカム指標（設定が困難な場合は、定量的なアウトプット指標も可能）	<p>【成果指標・目標の設定】</p> <ul style="list-style-type: none">○施策を実施することでどのような状態にすることを旨とするのかを「施策目標」として明確化した上で、施策の分野に関する「現状」と「課題」を明示○「施策目標」の実現に向けて達成すべき水準を定量的に測定できる「成果指標」としてアウトカム指標を設定。施策の成果の一部を測定できるアウトカム指標やアウトプット指標は「補足指標」とする <p>＜「補足指標」の設定例＞</p> <ul style="list-style-type: none">①時系列的に遠い目標を掲げる「成果指標」を設定する場合は、現在の取組状況を測ることができる指標を併せて設定②外部要因などの不確定要素が与える影響が大きい目標を掲げる「成果指標」を設定する場合は、行政の取組状況を測ることができる指標を併せて設定③「施策目標」の実現に向けた優先度を明確化できるよう、施策における重点分野に特化した指標を設定 <p>〔考え方〕</p> <ul style="list-style-type: none">・施策の論理的な構造を明確にするため、<ul style="list-style-type: none">①施策の背景にある、各局の現状・課題認識②施策全体の成果を測定する「成果指標」としてのアウトカム指標③施策の目的（施策目標、指標・目標）とその達成のための手段（取組・事業）の関係を整理する

政策評価制度の改善案（3 / 3）

事 項	今年度のスキーム	改 善 案
Ⅱ 評価手法 (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ○翌年度、評価実施（①成果指標の実績を基に施策の進捗状況の把握（各成果指標・施策全体で評語を設定）、②施策の分析、③今後の方向性の提示） ※自己評価に関する制度の改善は、「今年度の取組」から実施 	<p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施策の進捗状況の点検： 「成果指標」と「補足指標」の達成状況を基に、施策全体の進捗状況（順調かどうか など）を判断根拠とともに明示 ※各指標の達成状況として「達成／未達成、数値目標における達成度合い（%）」を一覧で表示。施策全体の評語設定は行わない ○分析・課題の抽出： 指標の目標と実績の乖離について、その要因分析をした上で課題を抽出 ○今後の方向性の提示： 課題に対する対応を含め、「施策目標」の実現に向けてどのように施策展開をしていくかを提示 <p>〔考え方〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的な構造を踏まえた分析や今後の方向性の提示を重視した評価内容とする
Ⅲ 評価書・ 情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ○①政策体系シート、②政策評価シート（施策ごとに成果指標・目標、構成する事業、自己評価等を記載） ○評価書は全て公表 	<ul style="list-style-type: none"> ○評価内容に関する一定の情報量を確保した評価書のほか、評価書の要約版（「現状」、「課題」、「指標・目標」、「自己評価」のポイントを記載した資料）を作成 ○施策を構成する事業として、「指標・目標」の達成に向けて寄与度が高い主要な事業（事業費のない事務・業務を含む）を記載